

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成25年度病害虫防除情報第9号

トビイロウンカ及びその他病害虫の発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

警報発表後もトビイロウンカの発生が増加しており、一部坪枯れも確認されています。

1. 作物名 普通期水稻
2. 病害虫名 トビイロウンカ
3. 発生状況

(1) 県では警報第1号(平成25年8月16日付け)を発表し、トビイロウンカに対する防除徹底を啓発したところである。

しかし、8月下旬に実施した巡回調査の結果、8月中旬調査時より発生地域は拡大し、生息密度も急速に高まっている(図1、図2)。

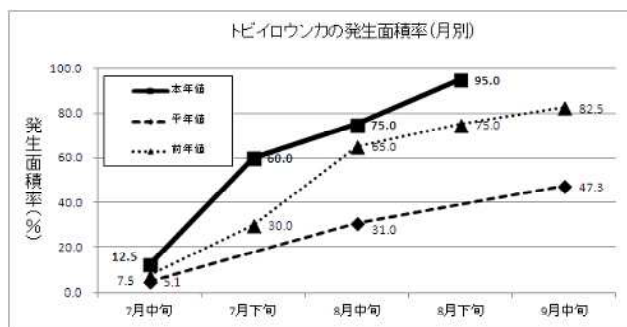


図1. 発生面積率の月別推移

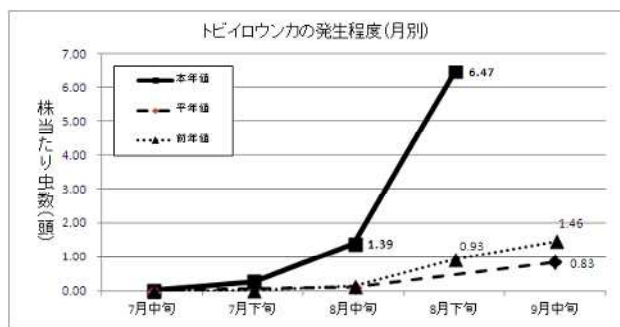


図2. 株当たり虫数の月別推移

(2) 巡回調査における発生面積率 95.0%と株当たり虫数 6.47頭は、8月下旬調査を開始した平成21年以降で最も多い(図3、図4)。特に西諸県地域では、株当たり虫数が12.7頭と非常に多くなっており、8月下旬から坪枯れが確認されている(表1)。

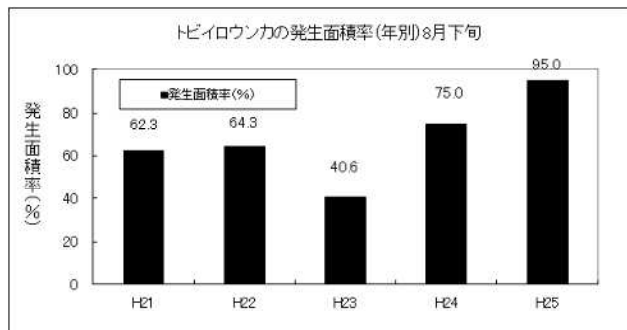


図3. 発生面積率の年別推移

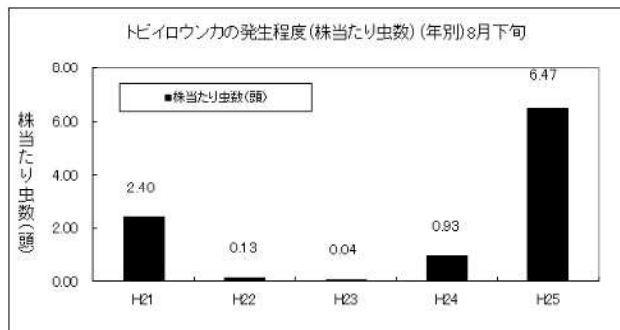


図4. 株当たり虫数の年別推移

表1. 地域別のトビイロウンカ発生状況

	調査地点数	発生面積率 (%)	株当虫数 (頭)	株当虫数 (短翅雌)
県北	18	88.9	2.30	0.28
東諸	4	100.0	9.95	0.96
北諸	10	100.0	7.60	2.15
西諸	8	100.0	12.72	0.95
県全体	40	95.0	6.47	1.09

- (3) 産卵数の多い短翅型雌成虫の株当たり虫数 1.09 頭は平成 21 年以降で最も多く、県内全域が要防除水準に達している (図 5、表 1)。
(要防除水準：8 月上旬～9 月中旬の短翅型雌成虫株当たり 0.2 頭)。

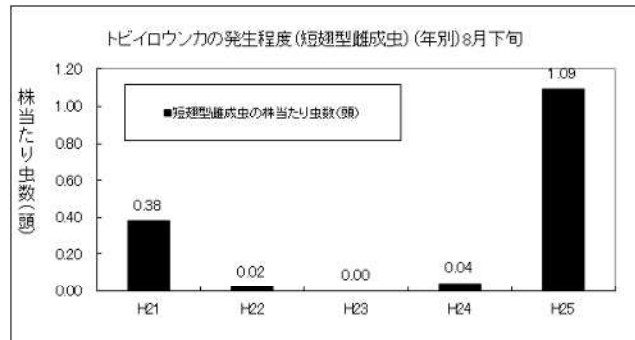


図 5. 短翅型雌成虫の株当たり虫数の推移

- (4) 鹿児島地方気象台が 8 月 30 日に発表した向こう 1 か月の気温 (8 月 31 日～9 月 30 日) は、平年並または高い確率とともに 40 % と予想されていることから、本種の増殖に好適な状況がしばらく続くと考えられる。

4. 防除上の注意

- (1) トビイロウンカは水田に侵入後 2～3 世代増殖を繰り返し、急激な密度上昇により収穫期頃に大きな被害を及ぼす。第 3 世代の防除適期 (幼虫期前半) は 9 月中旬以降になると予想されるが、これまで世代交代が繰り返されたことにより、ほ場内に全ての世代 (卵～成虫) が確認されていることから、警報第 1 号の発表以降に本田防除を行っていないほ場については、防除適期にかかわらず直ちに防除を行う (別紙：県内トビイロウンカの発生世代予測を参照)。
- (2) 警報第 1 号の発表以降に本田防除を行ったほ場においても、ほ場内に入って水稲の株元を確認し、トビイロウンカの密度が高ければ防除適期にかかわらず直ちに追加防除を行う。
- (3) トビイロウンカは株元付近に生息しているが、薬剤の種類や散布方法によっては薬剤が株元まで到達せずに十分な防除効果が得られない恐れがある。防除を行う際はほ場内に水をためてトビイロウンカを上を押し上げ、薬剤が本虫にかかるように丁寧な散布を行う。また、薬剤を選定する際は、薬剤が株元に到達しやすい粒剤を優先的に選定する (ただし、薬剤ごとの総使用回数や使用時期 (収穫前日数) に注意すること)。

5. その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局 (農業改良普及センター)、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

連絡先

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 斎藤
:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127
ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>
E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

今年のトビイロウンカによる被害状況
(西諸県地域 平成25年8月28日撮影)



写真1 . トビイロウンカによる坪枯れ

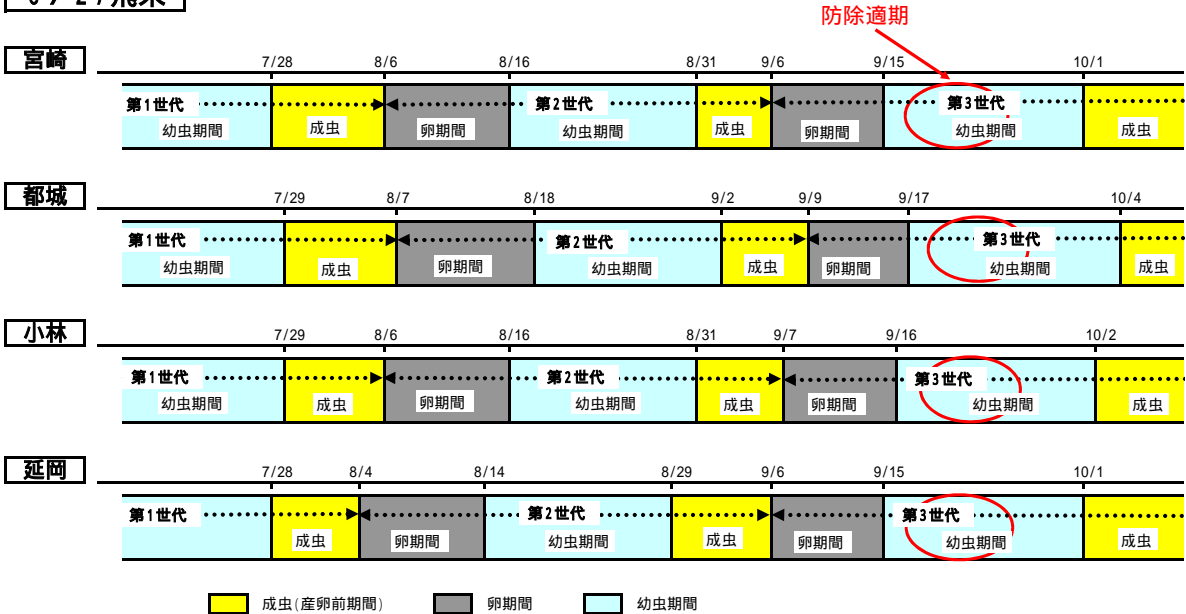


写真2 . 株元の状態

H25 県内トビロウカの発生世代予測 (H25.9.2)

発生世代予測の飛来日は県内におけるトビロウカの主要飛来日。気温は9月2日までは各地域の実測値、それ以降は平年値を参考にした。なお、実際の世代交代は今後の気温の推移により時期が前後する可能性がある。

6 / 27 飛来



各発生世代別の防除適期は次のように予測されます

地域	飛来時期	第3世代の防除適期
宮崎	6月27日	9月17日 ~ 9月27日
都城	6月27日	9月19日 ~ 9月29日
小林	6月27日	9月18日 ~ 9月28日
延岡	6月27日	9月17日 ~ 9月26日

各世代発生始期予測

世代	Stage	地区別発生始期			
		宮崎	都城	小林	延岡
初期侵入世代	成虫	6月27日	6月27日	6月27日	6月27日
	卵	7月4日	7月4日	7月5日	7月5日
第1世代	幼虫	7月13日	7月14日	7月14日	7月14日
	成虫	7月28日	7月29日	7月29日	7月28日
	卵	8月6日	8月7日	8月6日	8月4日
第2世代	幼虫	8月16日	8月17日	8月16日	8月14日
	成虫	8月31日	9月2日	8月31日	8月29日
	卵	9月6日	9月9日	9月7日	9月6日
第3世代	幼虫	9月15日	9月17日	9月16日	9月15日
	成虫	10月1日	10月4日	10月2日	10月1日

発生世代予測は「有効積算温度による海外飛来性害虫の発生予測支援システムVer. 2.12(Copyright 2009 S.TERAMOTO)」より算出。